



伊藤 夏実 ITO NATSUMI

2023 年度 芙蓉・女子美 Venus ファンド賞受賞

経歴

1993 愛知県生まれ
 2017 女子美術大学芸術学部美術学科洋画専攻 卒業
 2019 女子美術大学大学院美術研究科 博士前期課程 美術専攻洋画研究領域修了
 2023 女子美術大学大学院美術研究科 博士後期課程 美術専攻美術研究領域
 (洋画)修了
 博士(美術)
 <個展>
 2023 浮遊体としてのzip line / バロールラボ 他



Transmitter

素材・技法 キャンバス、油彩
 サイズ (cm) 194×162
 制作 2022

この作品は、描かれた形態が神経の伝達過程をイメージさせたため、タイトルを伝達者や送信機を意味する《Transmitter》と題しました。外界の情報が個人の脳内へいかように伝達され、記憶を形作ってゆくのは作者の日頃の関心ごとの一つでもあります。

数ある動物が存在する中で、なぜ人間だけが絵を描くようになったのか。視覚的な記憶能力の発達は何をもたらしたのか。絵を観察するうちに別の何かの形に見えてくる、一つの形や線から別の何かを連想する脳の機能に興味を持っています。一つの状況がまた次の新たな状況を生むようなこの連鎖する関係は、描き留め、記録し、保存するといった行為を描き手に対して促すがゆえに、絵画の根源的な機能と繋がりを持ったものでもともと作者は考えています。



今後の活動

2023年7月、根津のバロールラボにて個展を行いました。

新たな試みとして、オープニングイベントではオペラ歌手の方とピアニストの方をお招きし、音のぶつかる感覚や音同士の間を直接体感しながらライブドローイングを行いました。これからも、私自身のそして鑑賞者の感覚を揺さぶるような実験を取り入れつつ制作や展示に邁進していきたいと思っています。